

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人●△■○▲□
事 業 名 称	みんなを笑顔にする農園・夏休み販売体験プロジェクト事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和〇年4月1日～令和〇年3月31日
1. 事業の目的	<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p> <p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枚方市をはじめとする日本国内での農業の衰退の解消
	<p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少期に見られた田んぼや畑が周囲からなくなっていることに気づき、子どもにも田んぼや畑から体験を得る機会を与えたいと考えたため。
	<p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作業従事者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少
	<p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代に農業に対する興味を持てる機会を提供し、将来の農業の担い手を育成する。
	<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p> <p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○〇地区における休耕地の増加を解消する
	<p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法</p> <p><枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枚方市の子どもやその親世代が農業に触れる機会を提供することで、豊かな教育環境を確保できる。 ・ 地域の世代交流を促進することが出来る。 ・ 休耕地の減少により、市内の農産物の活性化に繋がる。 <p><確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム参加者にアンケートを実施する。

<p>2. 事業内容等</p>	<p>(1) 事業の対象者（例：枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業に興味のある人（居住地は問わない） ・〇〇地区の小学生 及び 市民 <p>(2) 事業の実施場所（移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇地区の田畑（枚方市〇〇近辺） ・〇〇地区集会所（枚方市〇〇） <p>(3) 事業内容</p> <p>農作業体験に興味のある人を募集し、未活用の農地を借用した市民農園を開園する。</p> <p>参加者の募集は、〇〇地区の小学生を対象にも行い、一部の収穫した作物を使用した夏休みの販売体験会を開催し、地元の小学生や地域の高齢者が交流できるイベントを開催する。</p>
<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>（事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること）※添付も可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 借用地の調整・参加者募集・説明会などの準備 ・5月 市民農園オープン ・6月 地元小学校で夏休みイベントの参加者募集 ・7月～8月 地元小学生を含めた農作業・夏休み販売体験会を開催 ・9月～3月 事業成果の集約・整理、次年度に向けた準備
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園スタッフ：5名（農業経験者を3名含む） ・事務スタッフ：2名 ・小学生コーディネーター：4名（学童保育スタッフ経験者を3名含む） ・販売体験会スタッフ：4名（1名は販売体験会の従事経験あり） <p>(2) 事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園参加者：大人10名、子ども20名 ・販売体験会参加者：子ども20名、その他50名 <p>(3) その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体：〇〇地区自治会、〇〇小学校、NPO法人〇〇 ・寄附者：〇〇地区商店組合、JA〇〇
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>（賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること）</p> <p>財源の確保策として、地元企業への寄附のお願いを行うとともに、民間助成の活用を検討する。賛同者の確保として、〇〇イベントに参加する。</p>

<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<p>他市で取り組まれている市民農園の事業に参加し、運営のノウハウを蓄積するとともに、借用地の所有者と交渉し、協力を取り付けた。〇〇地区の農作業体験会を令和3年度に2回開催した。</p>
<p>7. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の小学校や自治会を通じて参加者を募る ・ 各種 SNS で発信を行い、地元情報誌へ募集広告を行う
<p>8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 <input checked="" type="checkbox"/> 有り (申請中を含む) ・ <input type="checkbox"/> 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 (公益財団法人■■■■の▲▲基金)</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和6年3月頃の見込み)</p>
<p>9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<p>他市で取り組まれている市民農園や過去の農作業体験会の記録を添付します。</p>